

ことばの研究社
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba_kan@yahoo.co.jp

シリーズ 1. 通じているようで、通じていない日本語！！ なぜ、外国人と意思疎通ができないのか？

- ※ EPA 協定による看護・介護分野の外国人受け入れ事業が始まり、既に 13 年が過ぎた。しかしながら、現場での労働力不足は依然と深刻化しており、ますます厳しい局面を迎えている。
- ※ 外国人頼みのこの分野では、EPA 受け入れの人材が今後、大きな人材として必要となることは、国・自治体に問わず、社会全体が認識していることだ。
- ※ なぜ、外国人人材が定着しないのか、そして、人材不足の解消にならないのかを、今重要な問題として捉えなければならない。
- ※ 残念ながら、国家試験合格者でも十分な日本語力が身につけていないのが現実だ。だから、大きな戦力にならない。「教育の質」こそが、人材不足解消の決め手となり、経営の安定をもたらすのだ。

I、【「教育の質」とは、どういうことか？】

A、「覚えること」と「理解すること」の違いは？

- アジアで行われている教育の型式は、「覚えること」を中心に行われている。即ち、「暗記法」による教育形態だ。「覚えること」は、忘れることでもある。一度忘れてしまえば、なかなか思い出せなくなる。その場限りの教育といっても過言ではない。
- 対して「理解すること」は、人間が持つ好奇心を基にして、「知らないことを知ろうとする能力」を刺激する教育だ。よって、一度理解すれば、仮に忘れても、何かの手掛かりでその物事を理解する能力を持っている。

B、日本語教育の効果はこれだ！

- 前述した覚える教育を基に、日本語教育を行った場合は、覚えの悪い者にとっては、なかなか上達できない。また、勉強の仕方も前後関係なく、断絶して学ぶために、頭の中は混乱している。だから、教育の効果は非常に低いし、自学の能力も育たない。よって、【教育の質】が悪い。
- それに対して、理解する教育は、使用する教材自体が体系的に作られている。その方法は、【易しいものから難しいものへ】と学ぶために、理解しながら、次に進む。理解を伴う方法は、当然教育効果が高くなり、【教育の質】が良いと言える。

II、【「理解する」教育は、能力を導き出せる！！】

A、受験者の能力を使った日本語教育とは？

- 受験者は基本的に高学歴だ。即ち、日本語を話せなくても、知識では日本人の大学卒並みの能力を有している。だからこそ、この能力を日本語学習に導き出して言語習得させることが、最も適切で、確実な日本語習得の近道となる。
- そのためには、共有している知識を母語から日本語化することが、基本的な方法となる。即ち、物事に対して共通認識をしている事柄、概念を利用した学習方法が最も理解しやすい方法だ。この方法をとる教え方を「概念論」と言い、概念語の共有量を増加させていく教育だ。

B、受験者の主体性を尊重した教育！

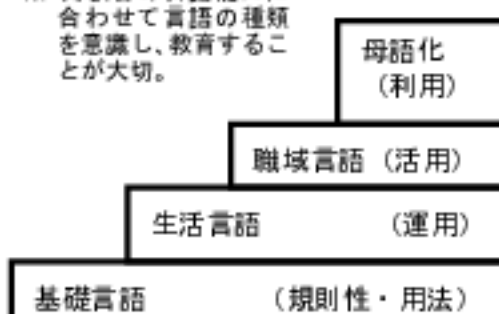
- 受験者は既に知識として持っている物を日本語化していくことは、非常に平易な学習方法とを感じる。即ち、学習手順は必ず「既知から未知へ」と、「具象語から抽象語へ」の手順を守り、日本語学習が「易しいものから難しいものへ」と感じるように、進めることが最も重要だ。
- 受験者の主体的な思考と行動によって、外国語である日本語に興味を持って習得させることが重要だ。成人である受験者にとっては、上から目線の「教える姿勢」は決して心地よいものではない。双方向型の教育こそが、受験者の主体性を守れる。

C、確実に、国家試験合格を獲得するためには！

- 表 1 は言語習得段階を表した表だ。外国人が日本人と同じ問題を解くことは難しい。マークシート方式でも、「質問文」の文意が理解できなければ、正解を選べないからだ。十分な日本語力がない合格者は、試験問題を正しく読解できて答えたとは言えない。即ち、偶然の結果、合格できた場合も多々ある。
- これは、偶然性の確率の高い合格であり、決して確実な合格能力があったとは言えない。偶然な合格なのか否かは、合格者の言語能力を見ればすぐに判明する。確実な言語能力を得るためには、表 1 の考え方を実践していくことが、最も確かな道だ。

表 1. 【理解する教育の段階表】

※ 受験者の言語能力に合わせて言語の種類を意識し、教育することが大切。



難

易

Ⅲ、【 都道府県別にみた高齢化の実態！！ 】

表、2【65歳以上の人口率】

65歳以上		
順位	都道府県	高齢化率
1位	秋田県	36.4%
2位	高知県	34.8
3位	島根県	34.0
4位	山口県	33.9
5位	徳島県	33.1
6位	山形県	32.9
7位	和歌山県	32.7
8位	愛媛県	32.6
8位	青森県	32.6
9位	岩手県	32.5
10位	大分県	32.4

※ 内閣府「令和3年高齢社会白書」

A、内閣府「地域別にみた高齢化の状況」発表！

- 表2は、65歳以上の高齢化率を表したものだ。内閣府が「令和3年高齢社会白書」で発表したものを、弊社が高齢化率の高い順10位までにまとめたものだ。
- 白書によると以下の通りに、高齢化率を解析している。
【平成30(2018)年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で36.4%、最も低い沖縄県で21.6%となっている。今後、高齢化率は、すべての都道府県で上昇し、令和27(2045)年には、最も高い秋田県では50.1%となり、最も低い東京都でも、30%を超えて30.7%に達すると見込まれている。また、首都圏を見ると、千葉県の高齢化率は、平成30(2018)年の27.5%から8.9ポイント上昇し、令和27(2045)年には36.4%に、神奈川県では25.1%から10.1ポイント上昇し35.2%になると見込まれており、今後、我が国の高齢化は、大都市圏を含めて全国的な広がりを見ることがとなる。】
（「高齢社会白書」から引用）
- 表2を見ると現在、地方の人口密度が薄い県ほど高齢化率が高いことを示している。1位は秋田県の36.4%で、10位は大分県の32.4%となっている。しかし、令和27年(2045年)の予測では、全ての都道府県で、30.7%以上の高齢化率を示すと予測されている。

B、65歳以上の人口順位表を解析！

- 表3は、65歳以上の人口の上位10位までを表したものだ。表2とは逆に、人口密度が高い都道府県が上位を占めていることが分かる。特に表3、65歳以上の人口で1位の東京都は、高齢化率が現在23.1%であるが、令和27年では30.7%になると予測されている。この30.7%は、高齢化率の一番低い率である。この30.7%は現在、熊本県が高齢化率30.6%であるので、これとほぼ同じ状況が東京都に現れることを示している。

表、4【100歳以上の人口】

100歳以上		
順位	都道府県	人数
1位	東京都	7,138
2位	神奈川県	4,579
3位	大阪府	4,399
4位	福岡県	3,760
5位	兵庫県	3,623
6位	愛知県	3,352
7位	埼玉県	3,115
8位	千葉県	3,088
9位	静岡県	2,663
10位	広島県	2,571

※ 厚生労働省「プレスリリース」

表、3【65歳以上の人口】

65歳以上		
順位	都道府県	人数
1位	東京都	3,189,000
2位	大阪府	2,420,000
3位	神奈川県	2,305,000
4位	埼玉県	1,934,000
5位	愛知県	1,875,000
6位	千葉県	1,721,000
7位	北海道	1,656,000
8位	兵庫県	1,577,000
9位	福岡県	1,408,000
10位	静岡県	1,081,000

※ 内閣府「令和3年高齢社会白書」

Ⅳ、【 まじかに「老々介護時代」到来！！ 】

「100歳以上高齢者の状況について」厚生労働省発表！

- 「敬老の日」をきっかけに、厚生労働省では都道府県別の100歳以上高齢者の人数を公表した。弊社ではそれを基に、表4の都道府県別順位表を上位10位まで作成した。これによると、表3の65歳以上の人口と表4の100歳以上の人口の順位は、ほぼ同様の自治体が上位を占めている。即ち、人口密度が高い地域では、今後の介護分野で80歳以上の介護を65歳以上の人が支える状況が濃厚に表れている。

- 日本ではまさしく、本格的な「老々介護時代」が5年以内に、過疎地であれ、密集地であれ、起こってくる。これが、内閣府と厚生労働省の数値から明らかとなった。就労人口の減少と出生率の低下により、特に介護分野では、外国人労働力に頼らざるを得ない状況が数値的に明確となった。外国人就業率を必要人数の3割まで考えて、介護分野の維持を図る必要があることを表している。

【国家試験受験能力到達度試験】参加 施設・病院の職員に聞いてみた！！

勉強の仕方を比較してみた！！

- 事業団の学習の仕方や、よく聞く一般の学習方法は、入職してすぐに専門用語や難しい漢字などを覚えさせる方法をとっている。この方法は、受験者側は「受験勉強をしている」。そして、指導者側は「教えている」という満足感を感じる。しかし、三年目になっても英語を交えながら対応・指導をしてしまうことが多く、日本語だけでは教えられない。教えたはずの言葉をすぐに忘れたり、理解していなかったりと、同じことを繰り返し指導する必要がある。それを繰り返すことで、受験者は勉強が嫌になってしまい、教える側も疲れる勉強の仕方だ。
- それに対して、ことばの研究社の学習は、テキストも日本語指導も、非常にシンプルで分かりやすい。入職一年目から国家試験問題を直接解いたり、参考書を読んだりしない。まずは生活に必要な言葉や、簡単な日本語文を読み、日本語のルールや使い方を理解できるようにしていく。その上で、徐々に文のレベルを上げていく。
- 入職二年目から受験対策の学習に入るが、その時には、専門用語や難しい日本語表現があっても、前後の文を読むことによって、類推できる力が身についている。ことばの研究社の学習は、一年目の勉強が二年目に、さらに、三年目に確実に実ってくるという実感が非常に強い。だから、国家試験問題を解く段階になって確実に実力がついていくことがよく分かる。無理なく、嫌がらずに学習しているので、教えやすい勉強の仕方だ。(宮城県・K病院)

全員合格して、実務者に！！

- 【月報】は毎号熟読している。ノウハウがあるんだと感じ、EPA 候補者の教育を依頼した。これをきっかけに、入職するたびに継続的に【到達度試験】に参加させている。【到達度試験】に参加させた者は全て合格することができ、皆、日本人と同様に働いて定着している。
- 年に4回のスカイプ授業と【到達度試験】と併用して学習するのだが、どの候補者も学習を始めて3か月間程で変化が現れ、教育効果が実感できている。日本語で文が書けなかった者が、3か月過ぎると、速く書けるようになったのには驚いた。
- ことばの研究社が作成した「学習計画表」に従い、指定教材を使って、音読練習を行ったり、文書を書く練習をする。「聞く・話す・読む・書く」力が並行的に身につくために、介護日誌や会議でのメモとりを候補者のうちからできるようになった。利用者対応も意思疎通がしかりできるようになったので、責任の範囲を決めて、仕事を任せられることは、非常に助かっている。
- 最近では新たに、特定技能生を受け入れている。入職した当初は、意思疎通がほとんどできない状態だった。この状態で【到達度試験】に参加させた。自学学習が定着し始めたころから、教育効果が現れてきている。本人たちも日本語能力試験3級、2級を受験したいと意欲的だ。(千葉県・S施設)

こんな質問が多く寄せられていますので、お答えします！！

Q1、スカイプが年に4回だけで、本当に大丈夫？

A1、大丈夫ですよ。そのわけは、スカイプ授業と「到達度試験」が交互に行われるので、1か月半に1回は、教師からの指導が届きます。もし、時間外で質問があれば、メールでやり取りして指導します。

Q2、対面教育ではないのに、本当に大丈夫？

A2、スカイプは顔や状態が把握できるので、対面でも同様の指導ができます。双方向でやり取りすれば、逆に対面より受験者の発話が多くなります。だから、対面だけの教育を重要視する必要はありません。

Q3、本当に自分だけで、勉強ができるの？

A3、これはいい質問です。自分だけでできるか否かは、全て教材の質にかかっています。外国人用の専門教材が、ほとんどなく、国語教育の焼き直し版教材では、自学能力はできません。「到達度試験」参加者の教材は、外国人用に研究された教材ですから、自分だけで学べるように作られています。

Q4、教材が沢山あるのに、新しい教材を使うのは大丈夫？

A4、事業団教材は、日本語力がない者には難しく、そのため、対訳しています。受験者の能力に合わせた教材が、一番理解しやすいのです。日本語を日本語だけで考える教材が一番良い教材です。

自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市徳芳 841

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、各詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

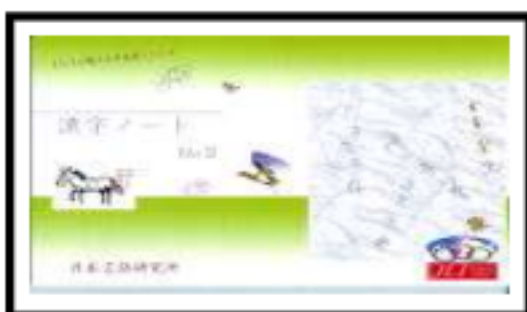


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		